

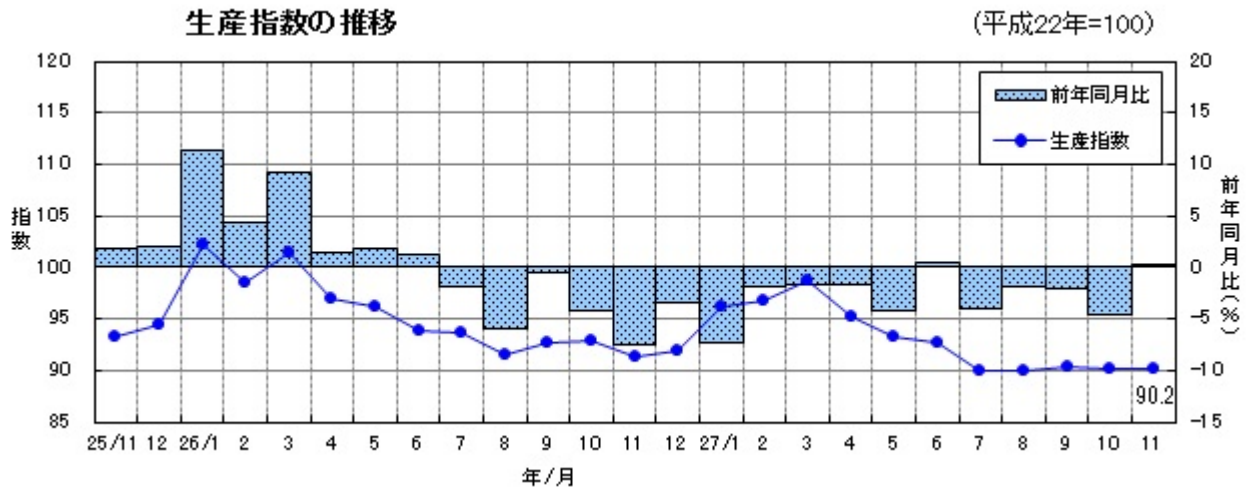
生産の前月比は横ばい、総じて弱含みで推移 (静岡県鉱工業指数 平成27年11月分速報)

1 生産指数の動き

平成27年11月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成22年=100)は**90.2**となり、前月比は**0.1%増**と2か月ぶりに上昇した。

また、前年同月比(原指数)は**0.3%増**と5か月ぶりに前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、化学、情報通信機械、電気機械等が上昇する一方、はん用・生産用・業務用機械、窯業・土石製品、食料品・たばこ等が低下した。

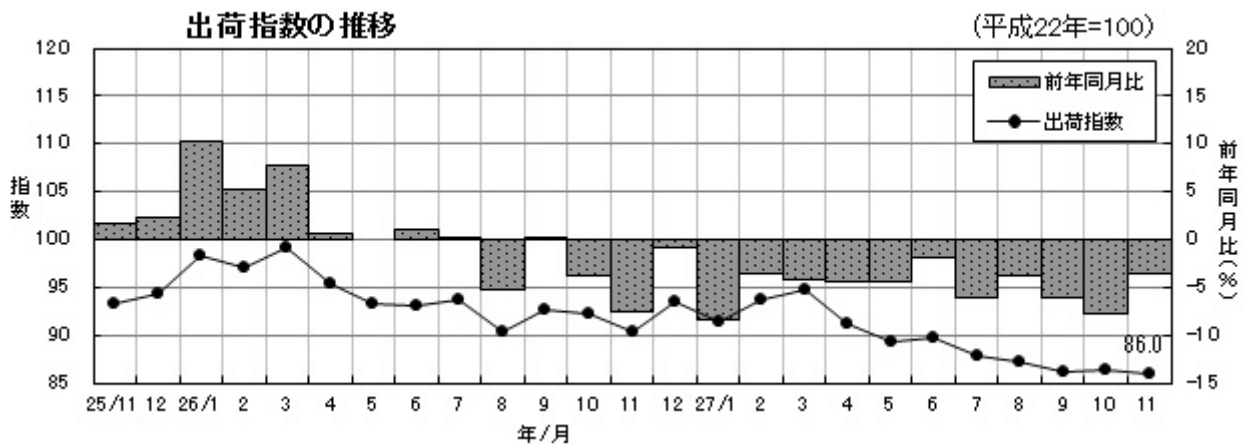


2 出荷指数の動き

平成27年11月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成22年=100)は**86.0**となり、前月比は**0.3%減**と2か月ぶりに低下した。

また、前年同月比(原指数)は**3.5%減**と14か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、輸送機械、情報通信機械、非鉄金属等が上昇する一方、食料品・たばこ、電気機械、はん用・生産用・業務用機械等が低下した。

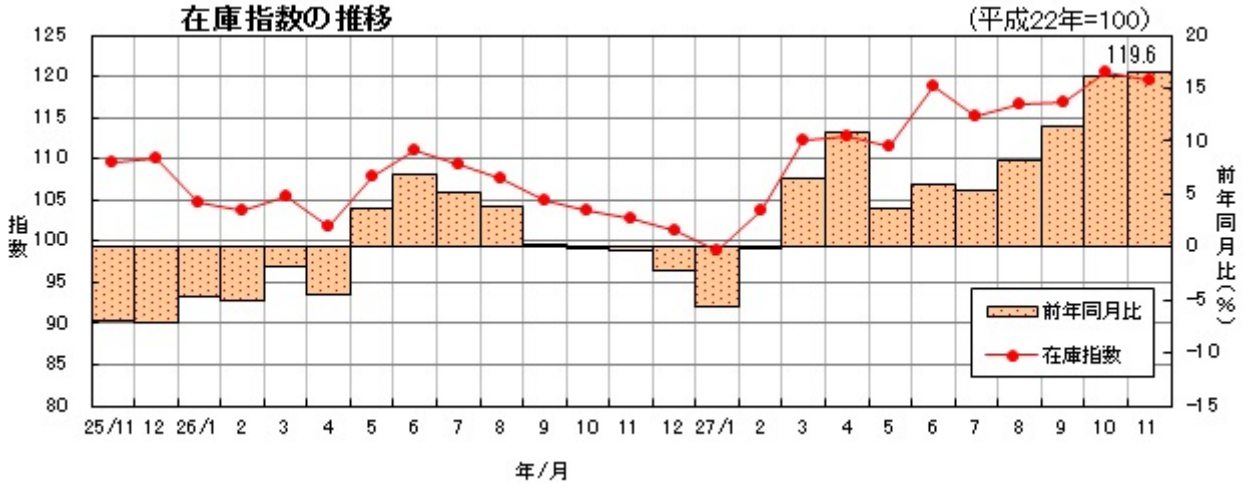


3 在庫指数の動き

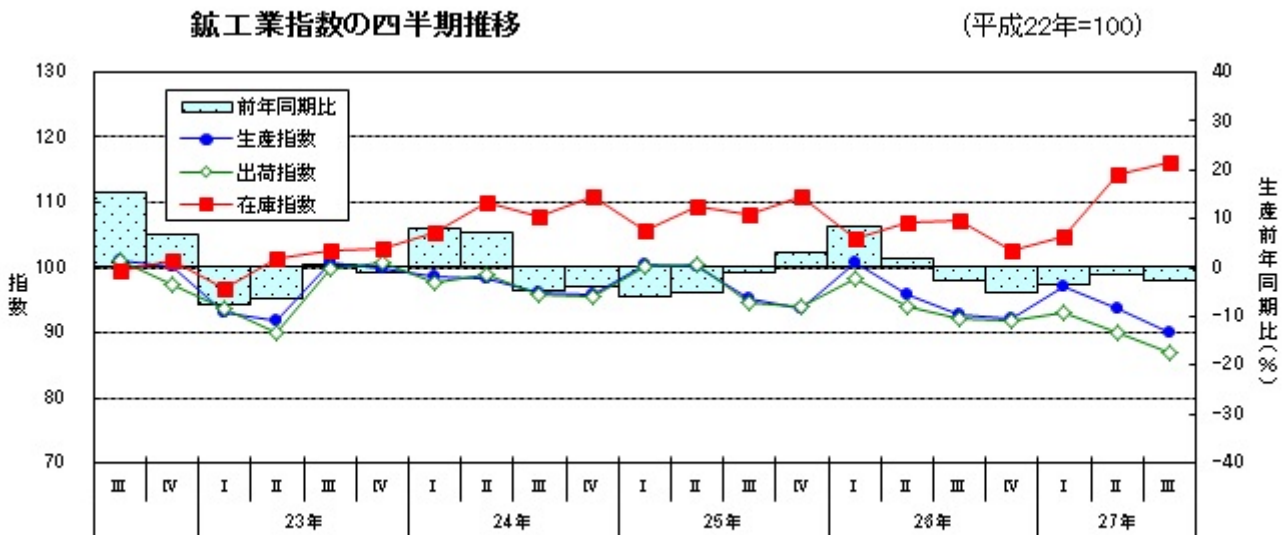
平成27年11月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成22年=100）は**119.6**となり、前月比は**0.7%減**と4か月ぶりに低下した。

また、前年同月比（原指数）は**16.4%増**と9か月連続して前年を上回った。

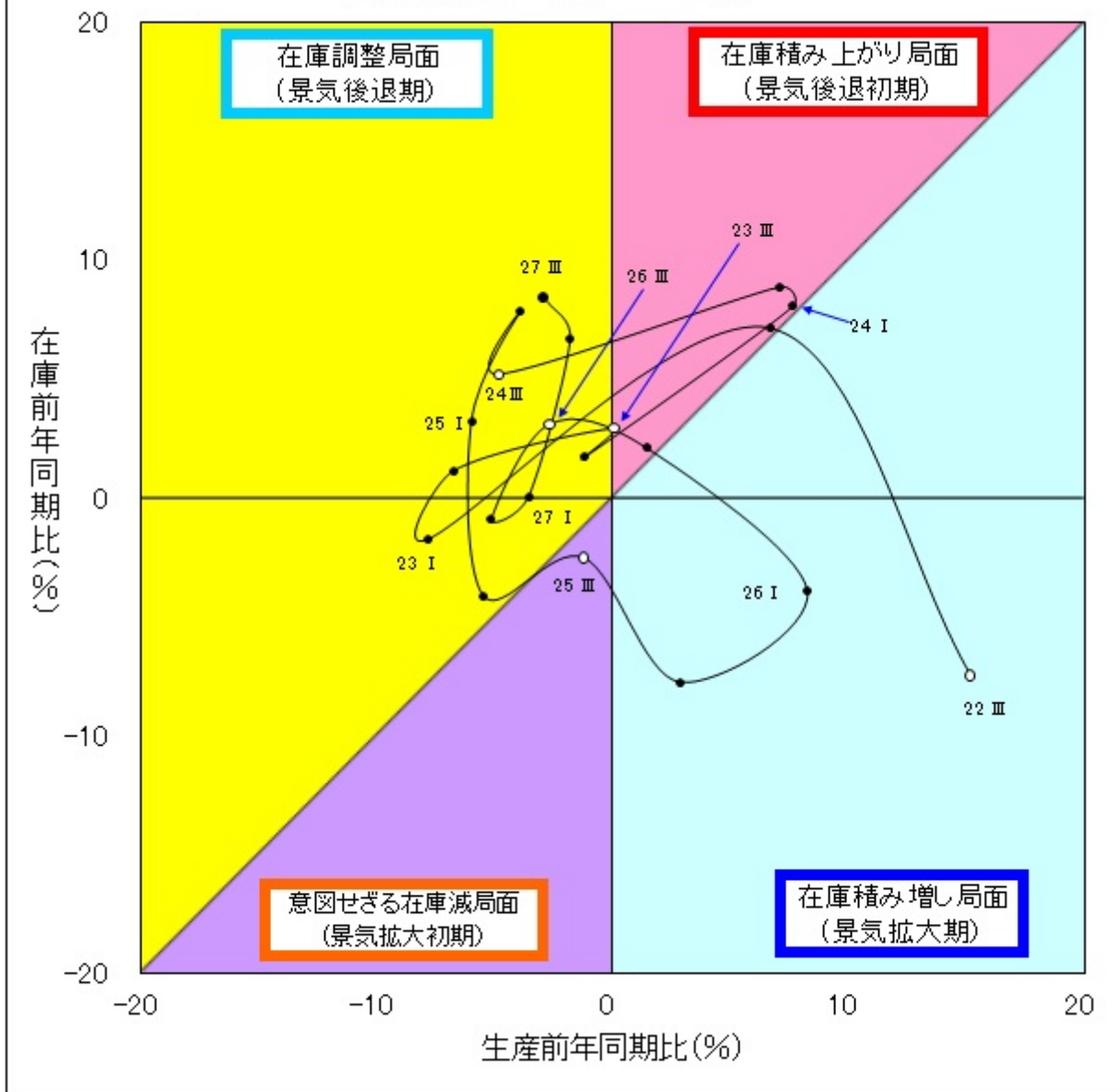
業種別の前月比（季節調整済指数）では、パルプ・紙・紙加工品、電気機械、プラスチック製品等が上昇する一方、輸送機械、窯業・土石製品、はん用・生産用・業務用機械等が低下した。



<参考> 四半期推移及び在庫循環図



在庫循環図(四半期ごとの推移)



- 在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- 在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
 供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- 在庫調整局面 (景気後退期)**
 適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- 意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
 需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。